



こんにちは

横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

北谷まり子

発行：北谷まり事務所

横浜市保土ヶ谷区

上星川2-1-13

TEL：045-381-1713

FAX：045-381-1716

市が新年度予算を発表！市民要望が一步前進

林文字子市長は1月30日、2018年度横浜市予算案を発表しました。一般会計の予算規模は1兆7,300億円で前年度比5%増の「積極予算」です。

党市議団が取り上げ、市民の声と運動のひろがりの中で実現・前進した市民要望

【子育て支援、教育の分野】

●認可保育所の新設を中心とした待機児童解消策

→2,795人の新規整備枠のうち認可保育所で2,068人分

●保育士処遇改善へ独自助成

→経験年齢7年以上の全ての保育士に月額4万円上乘せ

●児童虐待対応の児童相談所・区役所体制(19人)の強化

●保育所監査体制(5人)の強化

●学童(放課後児童クラブ)への支援

→3か所新設、分割移転支援は27か所、41人以上クラブへの補助基準額が引き上げ

●大規模キッズクラブへの補助の充実

●いじめ対策の強化

→スクールソーシャルワーカーの正規化(6人)

●教職員の多忙化解消

→小学校高学年での教科分担制の推進、理科支援員の配置(341校)、部活指導員配置(30人)

●新たな「教育文化センター」整備に向けて調査費計上(500万円)

●通院小児医療費助成中3まで拡大(2019年度)に向けた準備費1億円計上

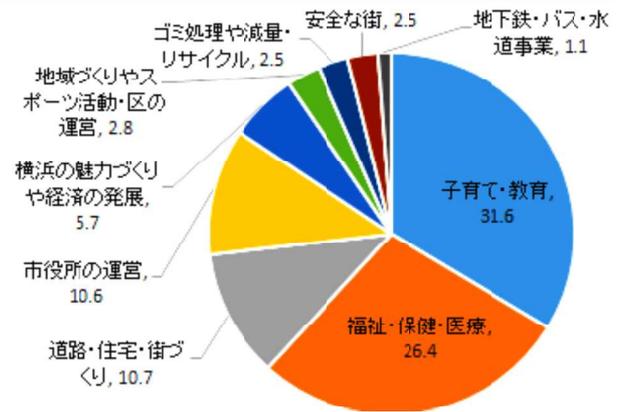
【福祉分野】

●特別養護老人ホーム整備数2倍化へ

→着工280床、継続300床と例年並みだが、業者公募は600床と倍増に

●障害者グループホーム整備

↓一般会計の分野別の内訳割合 数字は%



→44か所新設し、総数790か所に

●認知症高齢者グループホーム居住助成

→2万9800円を最大5万5千円/月に

●介護人材確保策

→条件付きながら住居借上支援事業を創設

●障害者スポーツ・文化施設新設

→上大岡に設置

●『子ども食堂』実施団体支援

→立ち上げ費用助成(10万円/団体)

●生活困窮世帯の子どもへの高校進学支援140人増(950人)

【防災、消防の分野】

●公衆トイレの整備加速

●救急隊4隊(40人)の増隊(国基準に到達)

●感震ブレーカー設置推進事業の拡充

大型開発に大判振る舞い…相変わらず

対前年度比で3割も増額された施設整備費のうち大型公共事業には、新市庁舎整備325億円、高速道路346億円、国際コンテナ戦略港湾など港湾整備に103億円、山下ふ頭再開発に62億円など大盤振る舞いは相変わらずです。党市議団は引き続き市民むけ施策の前進にむけて積極的な提案を行い予算組み替え提案をふくめ全力をあげる決意です。